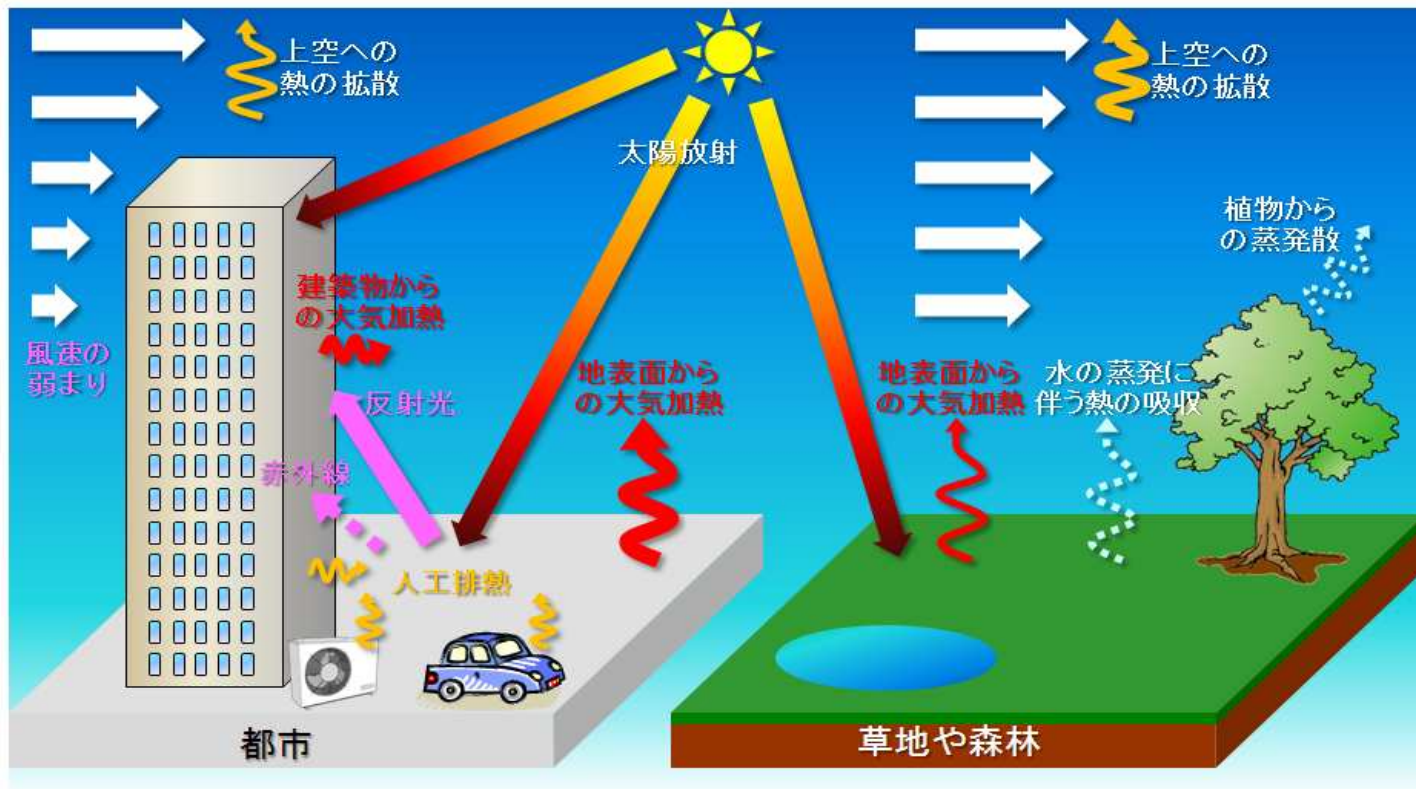




ヒートアイランドのメカニズムの概念図（気象庁のHPから）

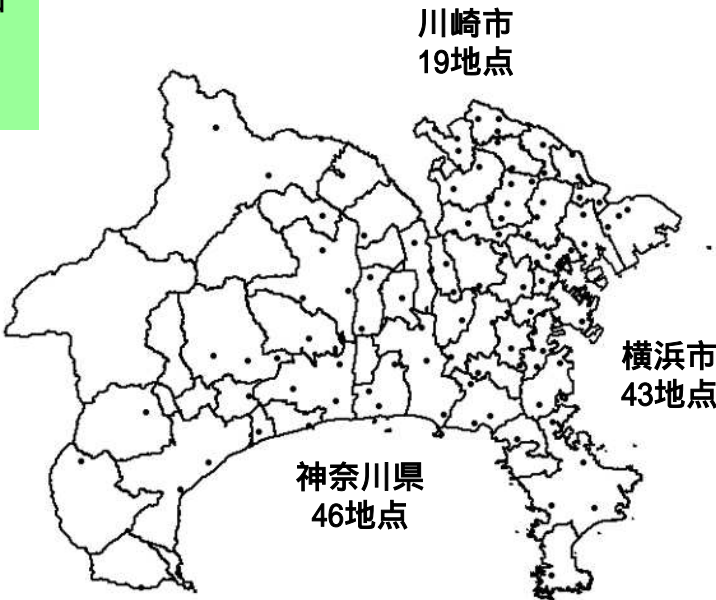


都市部では夏季における熱環境が深刻な問題となっています

現状
 平成21年～
 県内小学校百葉箱内に温度計設置
 気温の分布や変化の影響要因は・・・
 地形、水辺からの距離など：地理要因
 都市化の程度など：社会環境要因
 気象要因：年により大きく変動

☞ 中長期スパン(複数年)
 ☞ 川崎市・横浜市も含め県全域
 ……での気温測定が不可欠！

方法及び目的
 横浜市・川崎市とデータを共有
 人間への影響が深刻な夏季を対象
 県内におけるヒートアイランド発生状況を把握するための基礎資料
 施策の基礎資料として関係機関へ提供

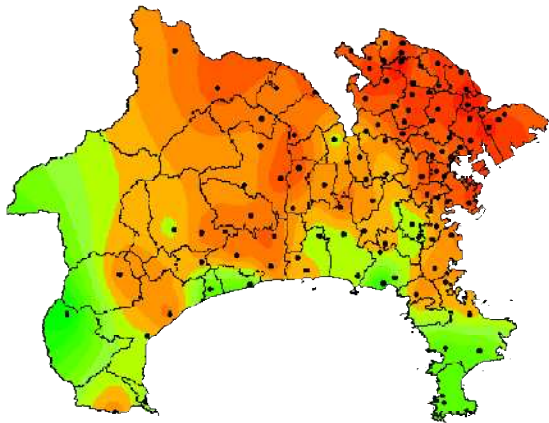


平成24年度の気温測定地点

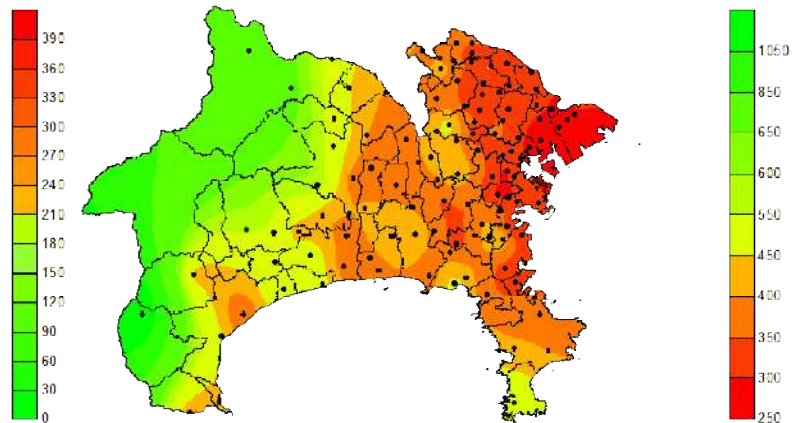


H22年～H24年の気象データ（7月～8月の平均値）

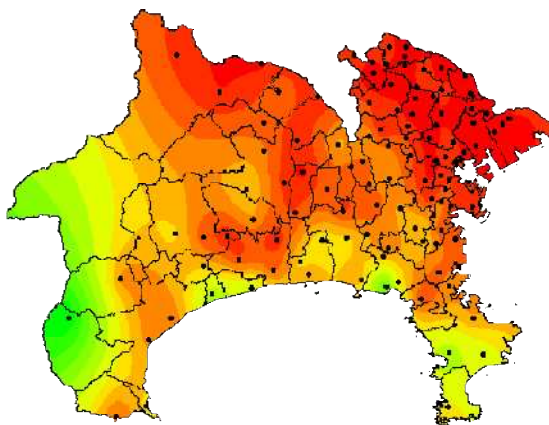
年	平均気温	35 時間数	30 時間数	< 25 時間数	猛暑日日数	真夏日日数	熱帯夜日数	地点数
H22	28.0	17.5	348.0	197.0	6.1	46.0	35.9	126
H23	26.9	8.8	273.8	391.5	3.2	39.2	22.7	132
H24	26.8	5.2	272.5	394.6	2.6	39.9	24.8	107



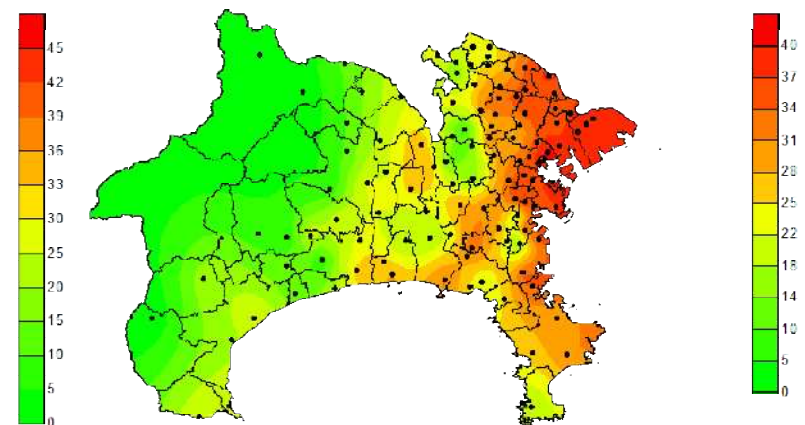
2012年7月～8月の30 以上の延べ時間数



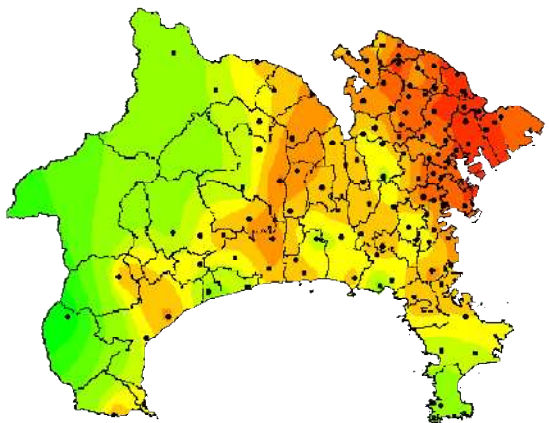
2012年7月～8月の25 未満の延べ時間数



2012年7月～8月の真夏日の日数



2012年7月～8月の熱帯夜の日数



2012年7月～8月の平均気温

結果

H22年～H24年の気温分布について・・・
**年により温度の絶対値は異なるものの、
 相対的な気温分布は類似の傾向**
 30 以上の延べ時間数・真夏日日数から・・・
川崎市南部及び横浜市北部が高い
**秦野市・伊勢原市～海老名市、座間市、厚木市、
 相模原市南区までの県中央部でも比較的高温**
 25 未満の延べ時間数・熱帯夜日数から・・・
**夜から朝にかけて 川崎市及び横浜市の臨海部、
 横須賀市～藤沢市～平塚市の沿岸部で暑い**